

2019 年度実施概要

学校名

兵庫県立西宮今津高等学校

採択活動名

フィールド科学実習および大阪湾再生研究活動

取り組みの概要

今年度は、学校設定科目「フィールド科学実習」と「課題研究」におけるアマモの水槽栽培実験の2つの取り組みを行った。

「フィールド科学実習」では、7月13日に事前学習として、大阪湾・西宮港湾域の水質調査、底質調査を行った。講師として(株)総合水研究所の吉村直孝氏の指導の下で調査を実施した。この事前学習の目的は、海洋調査の基礎知識を習得させることと、大阪湾の現状を実体験により知ってもらうことであった。

「フィールド科学実習」の本実習は、京都府宮津市で7月29日から8月1日まで4日間実施した。1日目は、兵庫県立大学の中濱直之氏の指導の下、森林観察実習を行った。2日目は、同じく兵庫県立大学の三橋弘宗氏の指導の下、河川生物調査を行った。この調査には、今年度購入したUSB顕微鏡、実体顕微鏡を使用し、カワゲラなどの水生生物の観察やその後の発表に使う資料作成として有用であった。3日目は、京都府立海洋高等学校において、宮津湾の水質調査を合同で行い、また施設見学などを行った。

「フィールド科学実習」の事後学習は、10月25日に本校で実施した。大阪湾と宮津湾の水質調査の結果について吉村直孝氏に講義をしていただいた。

宮城県塩釜市で開催された全国アマモサミット2019みやぎの高校生サミット(11月10日)や兵庫県立尼崎小田高等学校で開催された環境・防災地域実践高校生サミット(11月16日)、本校の総合学科発表会(2月1日)において、本校生徒数名が「フィールド科学実習」の取り組みについて発表した。総合学科発表会の口頭発表のスライド作成においては、助成金で購入したPCを活用させていただいた。

1月下旬より、本校2年次の生徒2名が、「課題研究」の取り組みとして、アマモの水槽栽培実験を始めた。事前に採取した甲子園浜の砂泥を使用し、NPO法人環境教育技術振興会理事の岩井克巳氏に提供していただいたアマモ種子を用いて、種子の発芽実験を行っている。

活動中の写真

デジタルデータにて2~3枚の添付をお願いします。



IMG_0023. jpg

西宮港湾域で底質調査を行っている様子



IMG_0201. jpg

河川生物調査で採集した生物を観察している様子



IMG_3467. jpg

全国アマモサミット 2019 みやぎにて発表している様子

実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1. フィールド科学実習
2.